

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	畜産課長 原 正三	電話番号	0852-22-5132
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	島根県獣医師確保緊急対策事業		
目的	(1) 対象	<ul style="list-style-type: none"> ・獣医系大学に在学し、将来、島根県職員として獣医師の業務に従事しようとする学生 ・産業動物獣医師等の確保を図るための修学資金貸与事業を行う畜産団体 	
	(2) 意図	修学資金を貸与することにより、獣医師を必要とする県の職場の獣医師を確保し、県の畜産振興の推進、家畜衛生及び公衆衛生行政の充実を図るとともに、畜産団体が実施する修学資金貸与事業への助成を行うことにより、産業動物獣医師等の確保を促進し、本県の獣医療体制の維持を図る	
事業概要	本県の公務員職員獣医師及び地域獣医療を支える産業動物臨床獣医師の確保が、依然として厳しい状況にある。そこで、島根県獣医師修学資金制度を維持するとともに、各種の獣医師確保対策（獣医師職場体験実習や獣医系大学就職説明会への参加など）をおこなうことにより円滑な獣医師確保に努める。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	獣医修学資金現貸与者数+貸与予定者数	目標値		9.0	12.0	16.0	17.0	人
	式・定義	(現貸与者数+新規貸与決定者数)	取組目標値						
			実績値	9.0	8.0	9.0			
			達成率	-	88.9	75.0	-	-	%
2	指標名	産業動物獣医師等修学資金現貸与者数+貸与予定者数	目標値		5.0	3.0	4.0	5.0	人
	式・定義	(現貸与者数+新規貸与決定者数)	取組目標値						
			実績値	3.0	4.0	2.0			
			達成率	-	80.0	66.7	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	18,210	24,585
うち一般財源 (千円)	15,377	22,822

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

家畜衛生分野に関しては、国内では、H26年以降毎年鳥インフルエンザが発生し、公衆衛生分野ではO157等による食中毒が毎年発生するなど、大きな社会問題となっており、これらに対処する公務員獣医師職員の責務は増加してきている。近年は獣医師の採用予定者数が満たない状況が続いており、さらに今後5年で1.3名が定年退職するため、獣医師確保は喫緊の課題で、採用年齢を引き上げ幅広い人材確保に努めているが、新卒者を確実に確保できるこの事業の継続が必要である。また、地域獣医療を支える家畜診療所等の産業動物臨床獣医師についても、その確保が厳しい状況が続いている。このため退職者の再雇用により定員数を維持している状況が続いているが、将来的に安定した年齢構成にするためには、新卒者の採用が不可欠であり、本事業の継続は必要である。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

これまで公務員獣医師確保を目的として、本事業で22名に貸与を行っており、この卒業生14名の12名が本県に就職し、さらに、このうち7名が県外出身者であり、確実に効果が得られている。H29年度は1名の修学資金貸与を開始し、数年後の新卒者の確保につながった。

また、産業動物獣医師等の確保を目的とした本事業において、これまで4名に貸与を実施し、この卒業生2名が県内産業動物診療施設に就職している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- ・新規採用募集人数に応募者、採用者とも満たない状況が続いている。
 - ・修学資金貸与決定者も貸与予定者数に満たない状況が続いている。
 - ・採用後、離職（退職）する者も少なくない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ・県内高校卒業後、獣医学科に進学する者が少なく、進学しても卒業後に島根県での獣医師勤務を希望する者が少ない。
 - ・他県も同様の修学資金制度を実施しており、島根県への就職の誘因動機が乏しい。
 - ・大学卒業生の約半数が、小動物診療分野へ就職を希望している。
 - ・県外出身者が多いため、採用後も個々の事由により離職（退職）し、現職の獣医師数の確保が困難。
- ③原因を解消するための「課題」
- ・県内高校生に島根県公務員獣医師を目指してもらうための動機付け。
 - ・獣医学科の在学生在に島根県の公務員獣医師業務を志望するよう継続的な働きかけ。
 - ・健康福祉部と連携し、新規採用職員等に対する研修会や意見交換会の充実。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・修学資金貸与については、私立獣医系大学生への貸与額を月額18万円に引き上げ、引き続き本事業を推進し、獣医師確保を図る。
- ・獣医系大学の就職説明会へ引き続き出向き、特に、県内出身者へアプローチを強め、島根県への就職誘導を図るため、旅費を全額支給してインターシップにより島根県獣医師の業務内容を体験してもらう。
- ・県内高校生から、より多くの獣医系大学進学者を増やすため、獣医師の職業紹介（ポスター配布等）を積極的に推進する。
- ・県内外の獣医師免許取得者（特に県内出身者）に対し、求人掲載等を活用し、幅広く募集を周知する。
- ・獣医就職奨励金の給付事務費補助は継続実施。